



新型インフルエンザ対策

京都府丹後保健所HPバナー

No. 7

新型インフルエンザ NEWS

～毎月12日(インフル)は、新型インフルエンザを考える日～

編集／発行 (京都府丹後広域振興局) 新型インフルエンザ対策ワーキング会議

丹後保健所

検索

<事務局>

京都府丹後保健所(丹後広域振興局健康福祉部)

保健室 感染症・難病担当

〒627-8570 京丹後市峰山町丹波 855

TEL.0772-62-4312 FAX.0772-62-4368

www.pref.kyoto.jp/tango/ho-tango

もくじ

- ・うつらない！うつさない！咳エチケット……………①
- ・新型インフルエンザの医療対応(第3弾)……………①
- ・用語解説(咳エチケット)……………②
- ・備蓄倶楽部(Part3)……………②

うつらない！うつさない！咳エチケット

この冬、家庭や職場、学校で『うつらない！うつさない！咳エチケット』を実践し、冬に流行するインフルエンザや一般的な風邪のまん延を防ぎましょう。

実践し経験しておくことが、新型インフルエンザ発生時の感染拡大に大変役立ちます。

- 実践1…外出から帰ったら、手洗い、うがいをする。
- 実践2…咳エチケットを守る。
※裏面の「用語解説」参照
- 実践3…こまめに室内を換気する。

新型インフルエンザの主な感染経路

- 飛沫感染：咳やくしゃみとともに飛び散ったウイルスの呼吸器への侵入による感染(目の粘膜からの直接感染もある。)
- 接触感染：ウイルスの付着したものを触った手で口や目を触ることでの感染

新型インフルエンザの医療対応 第3弾

第3弾は、新型インフルエンザ発生後の医療機関での対応について説明します。まず流行初期では、患者(疑いの強い人含む)の重症、軽症に関わらず、感染症指定医療機関に入院となり、流行期になると、重症者は入院、軽症者は自宅療養となります。

①国内発生早期

国内で初めて患者が確認された段階です。保健所に「発熱相談センター」が設置されます。

②感染拡大期

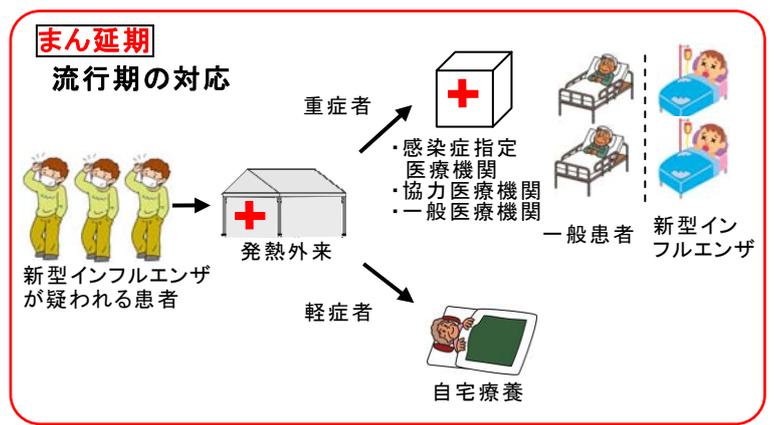
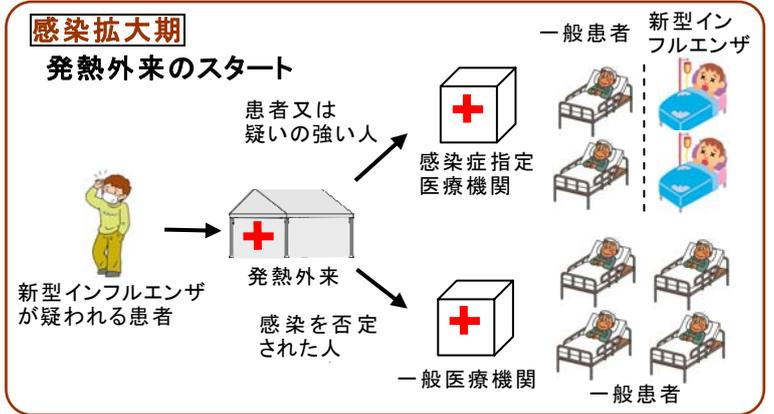
患者が発生し入院勧告措置に基づいて感染症指定医療機関等で医療が行われる段階です。二次医療圏に数力所、医療機関の敷地内を中心に「発熱外来」が設置され※トリアージが行われます。疑いの強い人や軽症の人でも感染症指定医療機関に入院となります。

③まん延期

新型インフルエンザ患者が増加し重症者対策に重点が切り替わった段階です。入院勧告措置が解除され、発熱外来での※トリアージにより軽症者は投薬を受け自宅療養となり、重症者のみ入院治療となります。入院先は感染症指定医療機関だけでなく協力医療機関や、もっと感染が広がれば、一般医療機関の病床確保も必要となります。

※トリアージ:状態によって振り分けること

<参考>「新型インフルエンザへの備え」アステラスSkyセミナー資料 岡部信彦氏



(用語解説) 咳エチケット

咳やくしゃみのマナーである「咳エチケット」は、2004年11月米国疾病予防管理センター(CDC)が提唱してはじまり、近年、日本でも呼吸器感染症の予防方法として、使われるようになりました。

風邪などで咳やくしゃみをする際、細菌やウイルスを含んだしぶきは1~2m飛ぶため、周囲の人を感染させないマナーが「咳エチケット」です。

エチケット①

咳やくしゃみなど症状がある場合は、マスクを正しく着用しましょう。また、咳などをしている人にマスクの着用を促しましょう。



エチケット②

咳やくしゃみの際、ティッシュなどで口と鼻を覆い、他の人から顔をそむけ2m離れましょう。何もなければ、口を前腕部(袖口)でおさえて極力飛沫が拡散しないようにしましょう。



エチケット③

咳やくしゃみをする際、押さえた手や腕は、すぐに洗いましょう。洗う前は周囲に触れないよう注意し、洗えない場合はパック入りのアルコール綿などを利用しましょう。



エチケット④

鼻汁・痰などを含んだティッシュは、すぐに蓋つきのゴミ箱にすてましょう。



～情報の贈り物～

備蓄倶楽部 Presents Part3

日用品編

新型インフルエンザが発生すると必要なものが買えなくなる可能性があります。足りないものは今から揃え始めましょう。赤ちゃんのいる家庭は、紙オムツなどを余分に準備しておきましょう。

日常生活するもの

- ビニール袋
 - 患者が使ったティッシュなどを密閉して捨てるため
- 蓋つきの密閉容器
 - 汚物やつばなどウイルスに汚染されたものを密閉して捨てるため
- キッチン用ラップ、アルミホイル
- トイレトペーパー、ティッシュペーパー
- 洗剤(衣類用・食器用)、石けん、シャンプー、リンス
- 保湿ティッシュ(アルコールのあるものとないもの)
- 生理用品、紙オムツ(赤ちゃん用、高齢者用)
- ペットフード(ペットを飼っている家庭)
- 洗濯ロープ(室内干し)
 - 屋外での感染を防ぐため
- 加湿器→室内環境を整えるため

災害時使用するもの(ライフラインがストップした場合)

- 懐中電灯、乾電池、携帯電話充電器(乾電池式)
- 手まわし発電機
- 携帯ラジオ・携帯テレビ
- カセットコンロ(ガスボンベ)
- ろうそく、マッチ、ライター
- 緊急連絡先リスト
- 多少の現金

<参考文献>

「新型インフルエンザの学校対策・H5N1型ウイルスから子どもたちを守るー基礎知識と指導資料ー」

岡田晴恵氏

★★★★訓練情報★★★★

京都府立与謝の海病院は、11月27日新型インフルエンザ患者の発生に備えて、「発熱外来」の設置とそこでの診療訓練を実施されました。

病院関係者、消防職員、市町職員等が見学する中、病院玄関前に特設テントを張り、内部に診療用具を設置し、防護服を着た医師や看護師が感染防止に注意をはらいながら、患者の受付から診療、入院までの手順等の確認をされました。

視察を終えて、訓練を重ねることと検証し改善することが重要と感じました。



テント内の診療風景



咳エチケットは基本だね！

丹後は手強いぞ。知識のワクチンが広がっている。



新型インフルエンザNEWS No.8

(平成21年1月12日発行)ワイド版

- ・トピックス
- ・鳥インフルエンザの人への感染状況
- ・研修会報告
- ・用語解説(不織布マスク)
- ・家族を守る(Vol.1)